

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

オサカダ タネゾウ
小坂田 種藏

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該當事項なし

三、生年月日(年齢数え年)

明治二十五年三月二十一日生(五十七歳)

四、出生地(都道府縣)

岡山縣英田郡吉野村大字五名五五二

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

愛知縣名古屋市西區堀越町字乗越二三八三洋油脂株式會社
電話西局六〇五、六〇六番

六、本籍地(略記しないこと)

岡山縣英田郡吉野村大字五名五五二

Page 1

Questionnaire

1. Name (In full).

Tanezo Osakada

2. Other names which you have used or by which you have been known.
(alias or penname).

None

3. Date of birth (age).

March 21, 1892 (56 years of age)

4. Place of birth (prefecture).

**No.552, Owaza-Gomyo, Yoshino-mura, Aita-gun,
Okayama-ken.**

5. Present address (in full) and telephone number.

**Tel. No.605, 606 (West Office)
Sanyo Fat Company No.233, Aza Norikoshi, Horikoshi-
machi, Nishi-ku, Nagoya-shi, Aichi ken.**

6. Permanent address (in full).

No.552, Owaza-Gomyo, Yoshino-mura, Aita-gun, Okayama-ken.

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統 (昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

三洋油脂株式會社 三井系統

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分 (財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

財閥會社 (三井本社傍系會社) 制限會社

(三) 地位

常務取締役、代表取締役

(四) 就任の豫定日

現任中

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該當事項なし

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとなればその詳細 (財閥同籍者との親族關係を含む)

該當事項なし

(二) 指定者が指定された日において指定者と同じ戸籍内にあつたことの有無

該當事項なし

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

Sanyo Fat Company Ltd. Mitsui Line

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

**Zaibatsu Company (Subsidiary company of Mitsui Main),
Restricted Company.**

c. Position:

Managing Director; Representative Director.

d. Scheduled date of assumption of the position.

In the office at present.

8. All other positions and professions which you hold now.

None

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

None

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

None

第三頁

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時に於ける當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
大正 六年八月	横濱ドック株式會社	技師	船用機關の修理	横濱市西區綠町三ノ四ノ一 造船、船舶修理業
大正十五年八月	東洋レイヨン株式會社	機務課長	人絹工場、機設設備新設並に修理、運轉	滋賀縣大津市石山北 大正西六ノ四 レイヨン製造、販賣業
昭和十一年九月	東洋硝子株式會社	機務課長	人造纖維工場建設並に運轉	愛媛縣伊豫郡松前 ステールアルファイ ン製造、販賣業
昭和十四年六月				

昭和十四年六月東洋精錬株式會社

取締役

人造鐵維工場の修理並に運轉を擔當し、經營には關係せず、又取締役會には一度も出席致しません

昭和十六年五月

式會社

專務取締役

鑛式精錬工場の建設に當り、鑛黃嶺山並に二硫化炭素製造工場の技術部面を擔當

東京都中央區日本橋堀留町二ノ一

昭和十九年二月
昭和十六年六月

式會社

取締役

私は、帝國鑛黃工業株式會社專務取締役在職の儘、名譽文付を條件として兼任したのです。依而東洋レールの經營其の他の業務には關係致しませんで、引續き帝國鑛黃の技術的業務に専念して居りました。又東洋レールの取締役會に、一度も出席致して居り

吾妻嶺山

群馬縣吾妻郡志村字千俣

森田工場

福井縣吉田郡森田町宇吉市

鑛黃採掘、精錬、二硫化炭素製造、販賣

帝國鑛黃工業株式會社專務取締役在職の儘、名譽文付を條件として兼任した

昭和十九年五月

たのです。依而東洋レ
シの經營其の他の業務には
關係致しませんで、引續
き帝國硫黄亞據術的業務に
専念して居りました。
又東洋レシヨンの取締役會
に、一度も出席致して居り
ません。
東洋レシヨンの取締役就任

(1) 私の東洋レシヨン株式會社（三井財閥直系會社）役員就任期間中に

於ける當社の株式の一割以上の所有者の氏名及持株率

三井本社 三五、五%

其他 六四、五%

(2) 私が役員として東洋レシヨン株式會社に勤務した期間に於ける他の役

員の氏名、地位及就退任年月日

(1) 私が取締役就任（昭和十六年六月一昭和十九年五月）當時の他の役員

役員氏名	地位	就任月日	退任月日
辛島淺彦	取締役會長	昭和十六年十二月廿四日	昭和十七年十月二日
伊藤與三郎	社長	昭和十七年十月十九日	昭和十九年五月二十日
辛島淺彦	専務取締役	昭和十八年七月十日	昭和十六年十二月廿四日

辛島淺彦	取締役會長	昭和十六年十二月廿四日	昭和十七年 十月 二日
伊藤與三郎	社長	昭和十七年十月 十九日	昭和十九年 五月二十日
辛島淺彦	專務取締役	昭和 八年 七月 十日	昭和十六年十二月廿四日
小澤武		昭和十六年十二月廿四日	昭和十九年 二月廿八日
伊藤與三郎		昭和十九年 二月廿八日	昭和十九年 五月二十日
井上治一	常務取締役	昭和 八年 七月 十日	昭和二十年 三月卅一日
小澤武		昭和十一年 六月 八日	昭和十六年十二月廿四日
山田政治		昭和十七年 十月十九日	昭和廿一年十二月卅一日
田代茂樹		昭和十七年 一月廿二日	昭和二十年十一月廿四日
小澤武	取締役	昭和十九年 二月廿八日	昭和十九年 五月卅一日
笹木梢		昭和十六年 六月廿八日	昭和十九年 二月廿九日
石田禮助		昭和十一年 六月廿六日	昭和十六年十二月卅一日
田代茂樹		昭和十一年十二月廿四日	昭和十七年 一月廿二日
高木宇吉		昭和十一年十二月廿四日	昭和二十年十一月廿四日
伊藤與三郎		昭和十七年六月 廿六日	昭和十七年 十月十九日
吉田初次郎		昭和十五年 六月廿五日	昭和十八年 五月卅一日
森信明		昭和十五年 六月廿五日	昭和十七年 十月 二日

笹木梢	昭和十六年 六月廿八日	昭和十九年 二月廿九日
石田禮助	昭和十一年 六月廿六日	昭和十六年十二月卅一日
田代茂樹	昭和十一年十二月廿四日	昭和十七年 一月廿二日
高木宇吉	昭和十一年十二月廿四日	昭和二十年十一月廿四日
伊藤與三郎	昭和十七年六月 廿六日	昭和十七年 十月十九日
吉田初次郎	昭和十五年 六月廿五日	昭和十八年 五月卅一日
森 信 明	昭和十五年 六月廿五日	昭和十七年 十月 二日
種村功太郎	昭和十八年十二月廿七日	昭和廿二年 五月廿三日
津田政吉	昭和十五年十二月廿八日	現在に至る
	昭和十六年 六月廿八日	昭和二十年十一月廿四日

池上章平	取締役	昭和十八年 六月廿八日	昭和十九年 三月卅一日
成瀬達	監査役	昭和十三年十二月廿三日	昭和廿一年 五月廿二日
佐羽太三郎		昭和十五年十二月廿八日	昭和十九年十一月廿四日

昭和十九年二月 三洋油脂株式會社

代表取締役
常務取締役

三洋油脂株式會社はピリヂン法による潤滑油の製造に失敗し、その責任を取つて役員全員が總辭職
東京本店
東京都中央区日本橋堀留町二ノ一
愛知工場

昭和十九年二月新しく小

佐羽太三郎

昭和十五年十二月廿八日

昭和十九年十一月廿四日

昭和十九年二月

三洋油脂株式會社

代表取締役
常務取締役

三洋油脂株式會社はピリヂン法による潤滑油の製造に失敗し、その責任を取つて役員全員が總辭職し、十九年二月新しく小澤武氏が社長に就任し、小澤社長の懇請に依つて私が常務取締役に就任致しました。私は二十數年來技術者として工場建設に多くの經驗を持つてゐるのを買はれたのであり

東京本店
東京都中央区日本橋堀留町二ノ一ノ一
愛知工場
名古屋市西區堀越町字乗越町二三八
京都工場
京都市東山區本町十二丁目七二一
戰爭中
潤滑油の製造並にその副産物の製造、販賣業

ます。私の職務は、陸軍の命令に依り一日も早く工場の建設に當ることでありました。從而工場の經營並に三井本社と東洋レィヨンとの連絡には小澤社長が當り、私は只管工場の建設にのみ當りました。昭和十九年五月より同年九月迄は、東京本店にあつて、その監督を兼ね陸軍燃料本部と技術方面の連絡に當りました。が、原料資材の入手難、輸送の不圓滑の爲建設事業は、遅々として進ま

その戰爭中の製品は試作品として僅かに十余トン
戦後
醫藥品の製造販賣業
油脂を原料とする化粧品
並に纖維機械油劑の製造販賣業

經營並に三井本館と東洋
レーヨンとの連絡には小
澤社長が當り、私は只管
工場の建設にのみ當りま
した。昭和十九年五月よ
り同年九月迄は、東京本
店にあつて、その監督を
兼ね陸軍燃料本部と技術
方面の連絡に當りました
が、原料資材の入手難、
輸送の不圓滑の爲建設事
業は、遅々として進まず
難航を續けました。偶々
同二十年五月十四日、工
場は戦災を受け、工場事
務所及工員寄宿舎社宅が
焼失した爲、事務所の物
色罹災従業員の世話等で

醫藥品の製造販賣業
脂を原料とする化粧品
並に纖維機械油劑の製
造販賣業

八月十五日の終戦を迎へ
ました。愛知工場の建設
は一ヶ年有半を唯徒勞に
終始し、その潤滑油の生
産も失敗に來し、僅かに
試作品として十余トンを出
したに過ぎないのです
その間八百萬圓の缺損と
參百九拾萬圓の負債を出
しました。依而同工場の
閉鎖を決意し、十月初旬
役員一同は總辭職をしま
した。乍然十月廿五日の
臨時株主總會にて、私は
愛知工場の整理の爲技術
擔當役員として必要なる
理由で留任せしめられ、
今日に及んで居ります。

現在に至る

その間八百萬圓の缺損と
 参百九拾萬圓の負債を出
 しました。依而同工場の
 閉鎖を決意し、十月初旬
 役員一同は總辭職をしま
 した。乍然十月廿五日の
 臨時株主總會にて、私は
 愛知工場の整理の爲技術
 擔當役員として必要なる
 理由で留任せしめられ、
 今日に及んで居ります。
 斯様に私は、就任來愛知
 工場の技術部面のみを擔
 當し京都工場には一切關
 與しませんでした。

工場の上

(1) 私の三洋油脂株式會社（三井財閥準直系會社）役員就任期間中に於け

る當社の株式の一割以上の所有者の氏名及持株率

三井本社（舊三井物産株式會社） 七五 %

東洋レィヨン株式會社 二五 %

(2) 私が役員として勤務した期間に於ける他の役員の名地位及就任年月日

(1) 私が三洋油脂株式會社取締役就任（昭和十九年二月一日）現在に至る）期間中の他の役員

役員氏名	地位	就任月日	退任月日
小澤 武	代表取締役社長	昭和十九年 二月一日	昭和二十年 十月二十五日
柴崎繁治郎	代表取締役社長	昭和二十年十月廿五日	現在に至る
	専務取締役	昭和二十年 四月十日	昭和二十年 十月二十五日
		昭和十八年 三月八日	昭和二十年十二月 十日

田代茂樹	專務取締役	昭和二十年 四月十日	昭和二十年 十月二十五日
中島恒雄	取締役	昭和十八年 三月八日	昭和二十年十二月 十日
多田繁三郎	"	昭和十九年 二月一日	昭和二十年十月二十五日
小室健夫	"	昭和十九年 二月二日	昭和二十年十月二十五日
橋本忠司	"	昭和十九年 九月一日	昭和十九年九月 一日
大場幸彦	"	昭和十九年十一月廿四日	昭和十九年十一月二十四日
生島朝太郎	"	昭和二十年 五月卅一日	昭和二十年十月二十五日
大西太郎	昭和 昭和廿一年 九月廿八日	昭和廿一年 九月廿八日	現在に至る
阪 貢	"	昭和廿三年 一月廿六日	現在に至る
宮本邦雄	監査役	昭和十八年 三月三日	昭和十九年 九月 一日
高木字吉	"	昭和十八年 三月八日	昭和二十年 十月廿五日
尾崎壽一	"	昭和二十年十二月十日	昭和廿一年 九月二十八日
大場幸彦	"	昭和十九年 九月一日	昭和二十年 十月二十五日
阪 貢	"	昭和廿十年 十月二至每	昭和二十年 九月二十八日
四柳與四治	"	昭和廿一年 九月廿八日	昭和廿三年 一月二十六日
	"	昭和廿一年 九月廿八日	現在に至る

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.

10. Chronological record of profession and employment

Dates of employment and retirement	Name of company or organization where you served	Status of the position (including position as ordinary personnel)	Duties and powers (in detail)	Substance of business of organization or company where you served and its location.
August 1917 - August 1926	Yokohama Dock Company Ltd.	Engineer	Repairing of machines for ships	Shipbuilding and repairing of ships. 1 of 4 of 3, Midori-cho, Nishi-ku, Yokohama-shi.
August 1926 - September 1936	Toyo Rayon Company Ltd.	Machine engineer	Newly establishing of rayon factories and machine equipments as well as repairing and operating thereof	Manufacturing and selling of rayon. No.4 of 46, Kitaoji, Ishiyama, Otsu-shi, Shiga-ken.
August 1926 - June 1939	Toyo Silk Rayon Company Ltd.	Chief of machine section	Construction of textile factory and operation thereof	Manufacturing and selling of staple fibre. Matsumae-machi, Iyo-gun, Aichi-ken.
June 1939 - May 1941	Toyo Silk Rayon Company Ltd.	Director	Was in charge of repairing and operating of artificial fibre factory and was not engaged in company's management. He had not attended the meeting of directors not even once.	

April 1941 - February 1944	Imperial Sulphur Industrial Company Ltd.	Managing Director (senmu)	Was in charge of technical side of sulphur mine and bisulphide carbon manu- facturing factory in constructing wet method refining factory	Mining and refin- ing of sulphur and manufactur- ing and selling of bisulphide carbon. No.1 of 1 of 2, Horidome-cho, Nihombashi, Chuo-ku, Tokyo. Azuma Mine. Aza-chimata, Tsumakoi-mura, Azuma-gun, Gunma-ken. Morita Mine. Aza-Furuichi, Morita-machi, Yoshida-gun, Fukui-ken.
June 1939 - May 1944	Toyo Rayon Company Ltd.	Director	While I was still hold- ing the post of managing director (senmu) of the Imperial Sulphur Company Ltd. I assumed the post of director on condition that my post would be mere nominal. Therefore, I did not take any part in the management and other business of the Toyo Rayon, and continued to de- vote my energy to the technical work of Imperial Sulphur. I had not attended the meeting of directors of the Toyo Rayon even once.	

- 3 e

Resigned from the post of director of Tokyo Rayon.

(1) Names and stock-holding percentages of stock-holder: owning 10% or more of the total stocks of this company during my tenure of office as an officer of the Toyo Rayon Company Ltd. (the company directly related to the Mitsui Zaibatsu).

Mitsui Main	35.5%
Others	64.5%

(2) Names, position and dates of appointment and retirement of their officials during my tenure of office as an officer of the Toyo Rayon Company Ltd.

(a) The list of names of other officers during the period I served as a director (June 1941-May 1944).

Names of officers	Position	Date of Appointment	Date of Retirement
KARASHIMA, Asahiko	Director and President	Dec. 24, 1941	Oct. 2, 1942
ITO, Yosaburo	Director and President	Oct. 19, 1942	May 20, 1944
	President	May 20, 1944	Nov. 24, 1945
KARASHIMA, Asahiko	Managing Director (sennu)	July 10, 1933	Dec. 24, 1941
OZAWA, Takeshi	Managing Director (sennu)	Dec. 24, 1941	Feb. 28, 1944
ITO, Yosaburo	Managing Director (sennu)	Feb. 28, 1944	May 20, 1944

INOUE, Jiichi	Managing Director (Jomu)	July 10, 1933	March 31, 1945
OZAWA, Takeshi	Managing Director (Jomu)	June 8, 1936	Dec. 24, 1944
YAMADA, Masaji	Managing Director (Jomu)	Oct. 19, 1942	Dec. 31, 1946
TASHIRO, Shigeki	Managing Director (Jomu)	Jan. 22, 1942	Nov. 24, 1945
OZAWA, Takeshi	Director	Feb. 29, 1944	May 31, 1944
SASAKI, Kozue	Director	June 28, 1941	Feb. 29, 1944
ISHIDA, Reisuke	Director	June 26, 1936	Dec. 31, 1941
TASHIRO, Shigeki	Director	Dec. 24, 1936	Jan. 22, 1942
TAKAGI, Ukichi	Director	Dec. 24, 1936	Nov. 24, 1945
ITO, Yosaburo	Director	June 26, 1942	Oct. 19, 1942
YOSHIDA, Hatsujiro	Director	June 25, 1940	May 31, 1943
MORI, Nobuaki	Director	June 25, 1940	Oct. 2, 1942
	Director	Dec. 27, 1943	May 23, 1947
TANEMURA, Kotaro	Director	Dec. 28, 1940	To the present
TSUDA, Masakichi	Director	June 26, 1941	Nov. 24, 1945
IKEGAMI, Shohai	Director	June 28, 1943	March 31, 1944
NARUSE, Tatsu	Inspector	Dec. 23, 1938	May 22, 1946
SABA, Tasaburo	Inspector	Dec. 23, 1940	Nov. 24, 1944

February
1944 -
Present

Sanyo
Fat
Company
Ltd.

Representative
Director and
Managing
Director
(jomu)

Sanyo Fat Company failed in the manufacturing of lubricating oil by the pyridine method and taking the responsibility all officers of the company resigned en bloc, and Mr. Takeshi Ozawa was appointed new President in Feb. 1944, and by the request of President Ozawa I was appointed managing director (jomu), as I had much experiences in factory construction as a technical expert for the space of some twenty years. My duty was to construct a factory as soon as possible by the instructions of the Army. Accordingly, I was solely in charge of constructing the factory, while President Ozawa was in charge of factory management as well as in the discharge of liaison services between the Mitsui Main Company and the

Tokyo Head Office:
No.1 of 1 of 2,
Horidome-cho,
Nihombashi,
Chuo-ku,
Tokyo-to.

Aichi Factory.
No.238,
Aza-Norikoshi-mae
Horikoshi-machi,
Nishi-ku,
Nagoya-shi,

Kyoto Factory
No.721, 11-chome,
Honcho,
Higashiyama-ku,
Kyoto-shi.

During the war.
Manufacturing of
lubricating oil
and manufacturing
and selling of
its side products
During the war
only some ten ton
were produced as
tentative product.

After the war.
Manufacturing and
selling of medical
supplies, and
manufacturing and
selling of toilet
goods by fat as
raw materials as
well as of oil
for textile
machineries.

- 6 -

Toyo Rayon Company.
From May 1944 to September of the same year I was at the Tokyo Head Office, and was engaged in the supervision of construction work together with the liaison services with the technical fields of Army Fuel Headquarters, but owing to the difficulty of securing raw and construction materials and to the transportation difficulties construction work made very slow progress, and the company had to continue very hard voyage. In the meantime, the factory suffered war damage on May 14, 1945 and as the factory office, dormitory for factory workers and the living houses for company's employees were burnt down much had been devoted to the task of finding out factory office as well as to the task of looking after the war damage sufferers among the company's employees. And on August 15, 1945 the war came to a close. More than a year and a half were wasted for nothing in the construction of Aichi factory, and the production of lubricating oil also ended in failure producing only some 10 tons or so of tentative products. During this period the loss of ¥8 million and the debts of ¥3.9 million were made,

Accordingly the closing of the same factory was decided, and in the beginning of October all officers of the company resigned en bloc. However, at the extraordinary general meeting of the stockholders on October 25 I was detained in the office for the reason that for the settlement work of the Aichi factory my services were needed as an officer in charge of technicals. And even today I am still in the same service. As has already been mentioned I have been in charge of only the technical side of the Aichi factory since the assumption of my office, and I have not at all been concerned with the Kyoto factory.

(1) Names and stock-holding percentages of stock-holders owning 10% or more of the total stocks of this company during my tenure of office as an officer of Sanyo Fat Company Ltd. (subsidiary company of the Mitsui Zaibatsu).

Mitsui Main
(old Mitsui Bussan Kabushikikaisha)

75%

Toyo Rayon Company Ltd. 25%

(2) Names, position and dates of appointment and retirement of other officials during the period I served as an officer.

(a) List of names of other officer during the period I served as a director of Sanyo Fat Company Ltd.

(Feb. 1, 1944-Present).

Names of officers	Position	Date of appointment	Date of retirement
OSAWA, Takeshi	Representative Director and President	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
SHIBAZAKI, Shigejiro	Representative Director and President	Oct. 25, 1945	To present
	Managing Director (senmu)	Apr. 10, 1945	Oct. 25, 1945
TASHIRO, Shigeki	Director	March 8, 1943	Dec. 10, 1945
NAKAJIMA, Tsuneo	Director	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
TADA, Shigesaburo	Director	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
KOMURO, Takeo	Director	Feb. 2, 1944	Sept. 1, 1944
HASHIMOTO, Chuji	Director	Sept. 1, 1944	Nov. 24, 1944
OKA, Sachihiko	Director	Nov. 24, 1944	Oct. 25, 1945
IKUSHIMA, Asataro	Director	May 31, 1945	Oct. 25, 1945
ONISHI, Taro	Director	Sept. 29, 1945	To present.
SAKA, Mitsugi	Director	Jan. 26, 1945	To present.
MIYAMOTO, Kunio	Inspector	March 3, 1943	Sept. 1, 1944
TAKAGI, Ukichi	Inspector	March 8, 1943	Oct. 25, 1945
	Ditto	Dec. 10, 1945	Sept. 28, 1946
OZAKI, Juichi	Inspector	Sept. 1, 1944	Oct. 25, 1945

OBA, Sachihiko	Inspector	Oct. 25, 1945	Sept. 28, 1946
SAKA, Mitsugi	Inspector	Sept. 28, 1946	Jan. 26, 1948
YOTSUYANAGI, Yoshiji	Inspector	Sept. 28, 1946	To present.

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥会社と財閥又は財閥直系会社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

(一) 明文の取極の有無

明文の取極はありません。

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系会社が関与した事実の有無

私は、大正六年七月、東京大學工科大学機械科卒業し、積濱船渠株式会社(現在の三菱重工重工業株式会社横濱造船所)に入社し、同十五年八月迄、船舶の修理建造に従事致しました。

時偶々、友人岩井尊人氏が、三井物産株式会社に居て、東洋レイヨン株式会社(現三井物産株式会社)の創立業務を擔當し、その機械技術者を物色して居りました。

依而同氏の紹介にて大正十五年八月、東洋レイヨン株式会社に機械技師として入社致しました。

又、昭和十一年九月東洋絹織株式会社(當時東洋レイヨン株式会社)に入社致しました。

昭和十四年六月、技術者として努力した功績を認められ、東洋絹織株式会社取締役役に就任致しましたが、同十六年五月、同社が東洋レイヨン株式会社に合併せられ、解散すると同時に、私も取締役を解任致しました。取締役に就任中は機械技術者として終始し、経営には全然関係せず、又取締役会には一度も出席致して居りません。

ました。取締役就任中は機械技術者として終始し、経営には全然關係せず、又取締役會には一度も出席致して居りません。

東洋絹織株式會社の取締役を辭任致した後、私は帝國礦業工業株式會社に入社しました。帝國礦業工業株式會社に於ては、當時吾妻嶺山に濕式精鍊工場を建設計畫中にて、工場建設に經驗ある技術者が無くて困つてゐた際ですので、同社、社長井上治一氏の懇請に依り、同十六年五月同社事務取締役として入社致し主として濕式精鍊工場の建設に當り又優質鐵の採掘並に精鍊と二硫化炭素製造の技術部門を擔當致しました。

帝國礦業工業株式會社（東洋レイヨン株式會社仔會社）は資本金四拾萬圓の小會社でありまして、経営は當時の社長井上治一氏が當られました。

昭和十六年六月の定時株主總會に於て私が東洋レイヨン株式會社關係に技術上の功勞があつたと言ふ理由で東洋レイヨン株式會社の取締役に推薦されました。

私は、東洋レイヨン株式會社の業務に直接關係なき身で、取締役に就任することは、不本意でありましたが、名義支拂を條件として快諾し

昭和十六年六月の定時株主總會に於て私が東洋レイヨン株式會社關係に技術上の功勞があつたと言ふ理由で東洋レイヨン株式會社の取締役に推薦されました。

私は、東洋レイヨン株式會社の業務に直接關係なき身で、取締役に就任することは、不本意でありましたが、名義丈けを條件として快諾したのであります。依而私は帝國礦業工業株式會社事務取締役在職の儘昭和十六年六月、東洋レイヨン株式會社の株主總會に於て取締役に推薦せられ、就任しました。乍然私は東洋レイヨン株式會社の經營、其他の業務には關係致しませんで引續き帝國礦業工業株式會社の技術上の業務に専念して居りました。又東洋レイヨン株式會社取締役會には一度も出席致しませんでした。

又東洋レイヨン株式會社取締役に就任については、親會社たる三井物産株式會社（株式會社三井本社）の事前承認は受けて居りません。

昭和十九年五月定時株主總會を機として、東洋レイヨン株式會社取締役に辭任致しました。その理由は、會社の業務に直接關係なくして水く、取締役に就任する事は、私の本意でない爲であります。

私は、昭和十九年三月、三洋油脂株式會社愛知工場に赴任致し、常務

取締役に就任致しました。三洋油脂株式會社は、昭和十八年四月以來

く、取締役に就任する事は、私の本意でない爲であります。

私は、昭和十九年三月、三洋油脂株式會社愛知工場に赴任致し、常務取締役に就任致しました。三洋油脂株式會社は、昭和十八年四月以來陸軍燃料本部の命に依り、航空機用潤滑油製造の目的の爲めに、工場建設を計畫したのであります。が最初の計畫たる「ピリヂン」法に依る製造方法では全然不可能なることが明らかになり、同十九年二月取締役全員が工場建設に一頓座を來したその責任を取り、總辭職を致しました。依而、新しく小澤武（當時東洋レィヨン株式會社事務取締役）氏が社長に就任し、新しく人容を整備して、石鹼乾溜法に依る工場建設に着手し、工場建設に經驗ある主任技術者を物色して居つたのであります。その上、陸軍よりは工場建設を一日も早くやる様督促を受けて居つたのであります。

私は二十有年技術者として特に工場建設に多くの經驗を持つのを買はれたのでせう小澤社長より、三洋油脂の社況を説明され再三再四の勸力方懇請されましたので、當時帝國硫黄は、硫黄鑛山の濕式精鍊工場が完成し、硫黄の生産も増大し、私が帝國硫黄に赴任した目的も殆んど、達成されてゐた際であつたので、同社の事務取締役を辭任し、後任者に任せて、新しく三洋油脂株式會社の常務取締役に就任致し、

て居つたのであります。

私は二十有年技術者として特に工場建設に多くの経験を持つのを買はれたのでせう小澤社長より、三洋油脂の社況を説明され再三再四の助力方懇請されましたので、當時帝國硫黄は、硫黄嶺山の蒸式精鍊工場が完成し、硫黄の生産も増大し、私が帝國硫黄に赴任した目的も殆んど、達成されてゐた際であつたので、同社の専務取締役を辭任し、後任者に任せて、新しく三洋油脂株式會社の常務取締役に就任致し、助力することになつたのであります。

私の三洋油脂株式會社に於ける任務は、陸軍燃料本部の命に依り一日も早く工場建設に當ることでありました。

従而小澤社長が愛知工場に常駐して専ら、會社の經營、東洋レィオン株式會社と三井本社との連絡に當つたのでありまして、私は、東洋レィオン株式會社及三井本社の利益を代表し又は、連絡に當る爲に、三洋油脂株式會社常務取締役に推薦されたものではありません。私は三洋油脂株式會社の常務取締役を、昭和二十年十月二十五日辭職致し、新しく同月同日の株主總會にて取締役に選任され同日の役員會にて、互選の結果常務取締役に再選され現在に及んでおります。

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

No arrangement existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

Having graduated the Machine Section of the Engineering Department of the Tokyo University in 1917 I entered the Yokohama Dock Company Ltd. (present Yokohama Dockyard of the Mitsubishi Heavy Industrial Company), and until August 1926, I had been engaged in the task of shipbuilding and repairing.

In those days Mr. Sonjin Iwai, who was a friend of mine and who was in the Mitsui Bussan Kabushiki Kaisha was looking for a mechanical engineer as he happened to be in charge of starting work of the Toyo Rayon Company Ltd.

Accordingly, by his introduction I entered the Toyo Rayon Company Ltd. in August 1926 as a mechanical engineer.

I also entered the Toyo Silk Yarn Company Ltd. (a subsidiary company of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days: present Khime factory of the same company) in September 1936.

In June 1939 I was appointed a director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd. as a recognition of meritorious services offered to the company as a technical expert, but when the same company was dissolved in May 1941 having been amalgamated with the Toyo Rayon Company Ltd. I also resigned from the post of director. During my tenure of office as a director I remained to the last as a mechanical expert, and I had not taken any part at all in the company's management. I had not attended the meeting of directors even once.

Having resigned from the post of director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd. I entered the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. In those days the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. was planning to establish a wet method refining factory at the Azuma Mine, and as the company was hard pressed for a technical expert experienced in factory construction I entered the company in May 1941 as a managing director (senmu) by the request of Mr. Jiichi Inoue, the President of the company. I was chiefly engaged in the construction of wet method refining factory. I was also in charge of technical fields of sulphur mining and refining as well as of manufacturing bisulphide carbon.

Page 5. b

Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. (subsidiary company of the Toyo Rayon Company Ltd.) was a small company with a capital of Y400,000, and Mr. Jiichi Inoue, the President, was in charge of company's management.

At the regular general meeting of stockholders in June 1941, I was recommended as a director of the Toyo Rayon Company Ltd. as a recognition of my distinguished services offered to the Toyo Rayon Company Ltd. as a technician.

It was against my will to assume the post of director, for I was not directly concerned with the business of the Toyo Rayon Company Ltd., but, with pleasure, I accepted the offer on condition that my holding of the post of director was mere nominal. Accordingly, I was appointed a director at the general meeting of stockholders of the Toyo Rayon Company Ltd. in June 1941 while I was still at the post of managing director (sennu) of the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. However, I continued to offer my technical services to the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. without taking any part in the management and other business of the Toyo Rayon Company Ltd. I attended the meeting of directors of the Toyo Rayon Company Ltd. not even once.

In assuming the post of director of the Toyo Rayon Company Ltd. no pre-recognition of the parent company

of the Mitsui Bussan Kabushiki Kaisha (Mitsui Main Company Ltd.) was received.

At the regular general meeting of the stockholders in May 1944, I resigned from the post of director of the Toyo Rayon Company Ltd. for as it was not my will to remain long in the office without having direct contact with the company's business.

In March 1944, I proceeded to the Aichi factory of Senyo Fat Company Ltd., and assumed the post of managing director (jōmu). Since April 1943 Senyo Fat Company Ltd. had been planning to construct a factory for the object of manufacturing lubricating oil for aircrafts by the instructions of the Army Fuel Headquarters, but as it was made clear that manufacturing of oil was absolutely impossible by the Pyridine method of manufacturing which was planned at first; and in February 1944 all of the directors resigned en bloc taking responsibility for the fact that factory construction had come to meet a setback.

Thereupon Mr. Takeshi Ozawa (he was the managing director "senmu" of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days) was appointed new President, and having adjusted the new personnel he started construction of a factory by soap dry distillation method; and at the same time he was looking for a chief technical expert experienced in factory construction. However, he was urged by the Army to construct the factory as quickly as possible.

President Ozawa explained to me the condition of Sanyo Fat Company, and asked me again and again to render him assistance: this might have been due to the fact that I had much experiences, particularly in factory construction as a technical expert for over 20 years. As, by that time, my object of proceeding to the Imperial Sulphur Company was almost accomplished by the increase of sulphur production of the company with the wet method refining factory of sulphur mine having been completed, I resigned from the post of managing director (senmu) of the same company, and was newly appointed a managing director (jomu) of Sanyo Fat Company in order to offer my assistance.

My duty at Sanyo Fat Company was to construct a factory as quickly as possible by the order of the Army Fuel Headquarters.

It was President Ozawa who constantly remained at the Aichi factory and was fully engaged in the company's management as well as in the discharge of liaison services with the Toyo Rayon Company Ltd. and the Mitsui Main, and I was not at all recommended to assume the post of managing director (jomu) of Sanyo Fat Company Ltd. in order to represent the interests of the Toyo Rayon Company Ltd. and those of the Mitsui Main or to act as a liaison officer. I resigned the post of managing director (jomu) of Sanyo Fat Company Ltd. on October 25, 1945, and was newly elected as a director at the general meeting of stockholders on the same day of the same month and at the officers' meeting on the same day I was re-elected a managing director (jomu) as a result of mutual vote. At present I am still holding the same post.

Page 5

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

昭和二十三年六月十日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

小坂田種彦



Page 6

12. Date

June 10, 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

T. Osakada



509

三井

APPROVED July 5 1948
承認 昭和23年7月5日

Musao Ueda

Application for Approval of
the Fact that I was not an
Officer of a Zaibatsu Company.

June 4, 1948

Tanezo Osakada
Representative Director,
Junior Director,
Sanyo Fat Co., Ltd.

- 1 -

Present Address: 238, Aza Norikoshi,
Horikoshi-machi,
Nishi-ku, Nageya City.

Present Occupation:
Representative Director,
Junior Director,
Sanyo Fat Co., Ltd.
at 1-1, 2-chome,
Horidome-cho, Nihombashi,
Chuo-ku, Tokyo.

Applicant: Tanezo Osakada.

To: Mr. Hitoshi Ashida,
Prime Minister.

Application for Approval of
the Fact that I was not an
Officer of a Zaibatsu Company.

I.. Summary of Application.

I was elected the Director of the Toyo Rayon Co.,
Ltd. (Quasi-affiliated company of the Mitsui Zaibatsu)
in June 1941 and remained in the same position until
May 1944.

Meanwhile, I was elected the junior director and
representative director concurrently of Sanyo Fat Co.,
Ltd. (Mitsui Zaibatsu subsidiary company) in February
1944 and now hold that position.

Accordingly, I hereby file an application for
approval of the fact that I was not an officer of a
Zaibatsu company for the reasons stated in the follow-
ing.

II. Reasons for Application

Although I fall under the Law for Elimination of Controlling Influence of Zaibatsu Families, Article 3, Par. 2, Item 2, I believe that I am entitled to file this application for the reasons stated in the following in accordance with the provisions of Par. 1, Article 7 and Par. 2, Article 6 of the same law.

Accordingly, I hereby file an application for approval of the fact that I was not an officer of a Zaibatsu company in accordance with the above law.

(1) Matters relating^to the Article 6.

1. Circumstances leading to my assumption of the post of officer.

I graduated from Mechanics Dep't., Tokyo University of Technology in July 1917 and entered the Yokohama Dock Company (present Yokohama Dockyard of the Mitsubishi Heavy Industry Co., Ltd.). Until August 1940, I had been engaged in repairing and construction works of steamers. It happened at that time that my friend Mr. Sonjin Iwai who was working at the Mitsui Trading Co., Ltd. was in charge of the business of establishing the Toyo Rayon Co., Ltd. and looking for a technical expert of mechanics.

At the introduction of Mr. Iwai, I entered the Toyo Rayon Co., Ltd. in August 1926 as a technician of mechanics.

I took charge of the installation and operation of mechanical equipment of the rayon workshop, first of its kind in this country.

I entered in September 1936 the Toyo Silk Yarn Co., Ltd. (subsidiary company of the Toyo Rayon Co., Ltd. at that time and presently Ehime Factory thereof.). Having used my experiences and knowledges of mechanics, I was engaged in the installation and operation of mechanical equipment of the staple fibre factory, first of its kind in this country.

My technical achievements having been acknowledged, I was appointed the director of the Toyo Silk Yarn Co., Ltd. in June 1939. However, the said company was merged into the Toyo Rayon Co., Ltd. in May 1941. Accordingly, with the dissolution of the Toyo Silk Yarn Co., Ltd., I resigned from the post of director. While I was in the position of director, I was no more than a mechanical technician and did not participate in the management at all. I did not attend the directors' meetings. The fact is clearly written in the certificate of Mr. Usaburo Wakabayashi, managing director.

After I resigned from the director of the Toyo Silk Yarn Co., Ltd., I entered the Imperial Sulphur Industrial Co., Ltd. This Company was at that time planning to construct a wet refinery at Azuma Mine, and was at a loss to find an experienced technician for the construction of a workshop. At the earnest request of Mr. Jiichi Inoue, president, I entered the Company in May 1941 as

the managing director. I was chiefly in charge of the construction of wet refinery, mining and refining of sulphur mine, and manufacture of bisulphide carbon.

The Imperial Sulphur Industrial Co., Ltd. (a subsidiary company of the Toyo Rayon Co., Ltd.) was a small company with its capital being at ¥400,000.

Mr. Jiichi Inoue, President, was solely in charge of management.

The fact relating to the above is clearly written in the certificate of Mr. Inoue.

My technical achievements having been acknowledged, I was recommended as a director of the Toyo Rayon Co., Ltd. at the ordinary shareholders' general meeting in June 1941.

As I had no direct relation whatever with the business of the Toyo Rayon Co., Ltd., I was disinclined to assume the post of director. But I finally accepted the offer on condition that my post was only nominal. I was recommended as the director of the Toyo Rayon Co., Ltd. at the shareholders' general meeting in June 1941 while I was in office of the managing director of the Imperial Sulphur Industrial Co., Ltd. At the recommendation, I assumed the post concurrently. However, I did not participate in the management and other business of the Toyo Rayon Co., Ltd., and continuously devoted myself

to the technical business of the Imperial Sulphur Industrial Co., Ltd. Moreover, I did not attend the directors meetings of the Toyo Rayon Co., Ltd. at all. The fact relating to the above is clearly written in the certificate of Mr. Asahiko Karashima, then president.

On the other hand, concerning my assumption of the director of the Toyo Rayon Co., Ltd., it did not obtain beforehand the approval of the Mitsui Trading Co., Ltd. (The Mitsui Main Co., Ltd.) which was its parent company. This was clear in the certificate of the Mitsui Main Co., Ltd.

On the occasion of the ordinary shareholders meeting in May 1944, I resigned from the director of the Toyo Rayon Co., Ltd., because I did not like to remain in director's office without having participated in the business of the Company.

2. Actual Condition of the Fulfilment of
my Duties of the Officer.

(i) I was engaged in the repairment of steamers as a technical expert of mechanics at the Yokohama Dock Co., Ltd. during the period from July 1917 to August 1926. I was at that time a technical worker.

(ii) I was engaged in the installation and operation of the machines of a rayon factory as a technical expert of mechanics at the Toyo Rayon Co., Ltd. during the period from August 1926 to September 1936. At that time, I was a deputy-chief of the machines section.

(iii) From September 1946 to May 1941, I, as a mechanical engineer, served in the task of installing and operating machines at the staple fibre factory of the Toyo Silk-Yarn Company Ltd. At that time I was the chief of the section for machines.

(iv) Although I was at the post of director of the Toyo Silk-Yarn Company from June 1939 to May 1941 I served as a mere engineer from beginning to end, and I neither participated in the management of the company nor attended the meeting of directors. For the proof of this please refer to the certificate of Mr. Usaburo Wakabayashi which I am submitting to you together with this application.

(v) Although I held the post of managing director of the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. from May 1941 to February 1944, I, as a technician, was engaged in mining and refining of sulphur as well as in the manufacturing of bisulphide carbon; and President Inoue was in charge of management while I was solely in charge of technical department. Concerning this please refer to the accompanying certificate of Mr. Jiichi Inoue.

(vi) From June 1941 to May 1944, I had no connection in the management and others of the Toyo Rayon Comaphy Ltd. I had not attended the meeting of directors not even once. I was no more than a mere nominal director. As for the truth of this please refer to the accompanying certificate of Mr. Asahiko Karashima.

(2) Reference to Article 7.

1. I am not a same family member of the Mitsui Line Zaibatsu. I am not corresponding to the same family members of the Mitsui Line Zaibatsu and their spouses or to parents and children, brothers and sisters or to their spouses. Concerning this please refer to the name list of the same zaibatsu family members submitted from the Mitsui Main Co., Ltd.

2. How I was appointed as an officer.

I proceeded to take up my post at the Aichi factory of Sanyo Fat Company Ltd. in February 1944 and there I was appointed as a managing director. Since April 1943, Sanyo Fat Company Ltd. planned to construct a factory for the purpose of manufacturing lubricating oil for aircrafts by the instructions of the Army Fuel Headquarters, but as it was made clear that it was absolutely impossible to manufacture oil by the use of pyridine method of manufacturing which was planned in the beginning all the directors resigned enbloc in February 1944 in way of taking responsibility for the fact that the construction of the factory met with a deadlock.

Accordingly, Mr. Takeshi Ozawa (he was a managing director of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days) was appointed ~~was~~ a new President; having adjusted the new personnel and planning to construct a factory by soap dry distillation method he was looking for a chief engineer

experienced in factory construction. He was urged by the Army to construct the factory as quickly as possible.

As the object of my proceeding to take up the post of managing director of the Imperial Sulphur Company was achieved by the increase of sulphur production resulting from the completion of damp method refining factory of sulphur mines, and as I was asked again and again by the new President Mr. Ozawa because of the fact that I had much experiences particularly in factory construction as a technical expert for more than twenty years, I resigned from the post of managing director of the same company leaving the post to the successor, and I was appointed as a managing director of the Sanyo Fat Company Ltd.

I also resigned from the post of director of the Toyo Rayon Company at the regular general meeting held in May of the same year. I did so because my conscience prevented me from remaining long in the company of officers as a mere nominal director without participating in the actual management of the same company as I have already mentioned.

My duty at Sanyo Fat Company was in the construction of a factory as soon as possible by the instructions of the Army Fuel Headquarters. It was President Ozawa who engaged in the management of the company and acted as a liaison officer to have dealings with the affairs of the company in its relation to the Toyo Rayon Company Ltd.

and the Mitsui Main, and I was not recommended to become a managing director of Sanyo Fat Company in order to represent the profits of the Toyo Rayon Company and the Mitsui Main or to act as a liaison officer. Managing director of Sanyo Fat Company having resigned on October 25, 1945 I was elected as a new director at the general meeting of the stock holders on the same day of the same month, and as a result of mutual vote at the officers' meeting on the same date I was re-elected as a managing director.

3. Discharge of officers' duty.

Up to now I have been at the post of managing director of the Sanyo Fat Company since February 1944. As has already been mentioned I assumed the post of managing director by the request of President Ozawa, as I had a good many experiences in factory construction as a technical expert for the past over twenty years; therefore my duty was no more than the construction of the factory as was instructed by the Army Fuel Headquarters.

President Ozawa was in charge of factory management as well as in discharge of liaison services with the Mitsui Main and the Toyo Rayon Company Ltd.

From May 1944 to September 1944 I concurrently held the post of supervisor at the Tokyo Head Office of Sanyo Fat Company and endeavoured to maintain close relations in the field of technics with the Army Fuel Headquarters.

Manufacturing of lubricating oil was not an easy task in those days and there being many problems to be solved in the field of technics construction work made very slow progress owing to the difficulty of securing raw materials and construction materials and to the transportation difficulties: and the company had to continue very hard voyage. In the meantime the factory suffered air raids on May 14, 1945 and as the factory office and the dormitory for factory employees as well as the residence for company's employees were burnt to ashes the factory construction had to face a great obstacle once more as much effort was needed in finding out a factory office and in taking care of the employees of the war damage sufferers. And in addition, because of the strict interference of the Army, construction work did not progress smoothly, and the war came to an end on August 15.

Although a year and a half had elapsed since the construction of the Aichi factory of the Sanyo Fat Company the company's object of producing lubricating oil for aircrafts ended in failure, and in producing only ten tons or so of experimental oil the company had to suffer the loss of Y8 million and made the debts of Y3,940,000 having completely consumed the capital of Y10 million.

Closure of the Aichi factory which was the principal factory of the company was decided at last, and all of the officers were obliged to resign en bloc at the extraordinary general meeting held in the beginning of October. However, at the extraordinary general meeting held on the 25th of the same month in the same year it was decided that I should remain in office for the reason that my presence in office was necessary as an officer in charge of technics for the settlement of the Aichi factory. It was for this reason that I was re-elected, and at the officers' meeting of the same day I was elected by mutual vote as a managing director, the post I held previously. Accordingly, I had to start liquidating the same factory under Mr. Shibasaki, the new President.

It was a little over 10 days after my re-assumption of the post of managing director that the announcement of the dissolution of the Mitsui Main was made on November 8 of the same year and the control and guidance of the Mitsui were completely abandoned.

Making use of my experiences of many years as a technical expert and in concert with few remaining employees I endeavoured to reopen the factory. By the introduction of the technique of pencillin in October 1946 the company's Aichi factory was reopened, and since

then the plan has been materialised smoothly. At present our company secured the 5th position among 40 penicillin producing companies. With the support of all the employees I am doing my bit for the advancement of the company in the field of technicals.

During my tenure of office as a managing director the chief of the Kyoto factory of the Sanyo Fat Company changed from Mr. Tsuneo Nakajima to Mr. Asataro Ikushima and then to President Shibasaki, but from the beginning to the present I have had no direct connection with the Kyoto factory.

4. I had neither same authority or controlling power nor higher authority or controlling power as had been exercised by the representative officer. Since February 1, 1944 to the present I have been holding the post of managing director of the Sanyo Fat Company, and as has already been mentioned in the application I have been doing my work under President Ozawa, the highest representative officer of the company.

Naturally, I had neither same authority or controlling power nor higher authority or controlling power which had been exercised by President Ozawa, the highest representative officer of the company.

5. Over four officers' posts of the Mitsui Zaibatsu Company had not been held by me concurrently.

- 13 -

I had not been appointed as an officer of the Mitsui
Zaibatsu Company with the exception of the Toyo Rayon
Company Ltd. and Sanyo Fat Company Ltd.

Concerning this please refer to the note of vocation-
al career which is being submitted to you together with the
accompanying documents.

ATTACHED DOCUMENTS

Tanezo Osakada

ATTACHED DOCUMENTS

1. Certificate of Mr. Usaburo Wakabayashi.
2. Certificate of Mr. Jiichi Inoue.
3. Certificate of Mr. Asahiko Karashima.
4. Certificate of the Mitsui Main Company, Ltd.
5. Chronological Record of Profession and Employment.
6. Certificate of the Toyo Rayon Company, Ltd.
7. Certificate of Mr. Masao Fukushima.
8. Certificate of Mr. Bunryo Fukushima.
9. Petition of the Representative of Trade Union.

CERTIFICATE

At the general meeting of the stockholders of the Toyo Silk Yarn Company, Ltd. in June 1939, Mr. Tanezo Osakada was nominated to the post of a director for his distinguished services offered as a company's technical expert, and although he assumed the post he had not taken any part in the management of the company having served only as a technical expert. He had neither attended any meeting of the directors.

Being the managing director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd. in those days, I was well acquainted with the above mentioned facts; therefore I hereby certify that the above facts are true in all respects.

June 8, 1948

Usaburo Wakabayashi
Ex-Managing Director
(Sennu) of the Toyo
Silk Yarn Company Ltd.

CERTIFICATE

At the general meeting of stockholders of the Imperial Sulphur Industrial Company, Ltd. in April 1941, Mr. Tanezo Osakada was elected as a managing director (Semmu), and during my tenure of office he, as a technician, was in charge of technical department of sulphur mine as well as of the manufacturing factory of bisulphide carbon and I, as the President, was directly in charge of company's management.

Being the President of the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. in those days, I was well versed in the above mentioned circumstances.

I, therefore, certify that the above statement is true and correct in all respects.

May 10, 1948

Jiichi Inoue
Ex-Representative
Director and Con-
currently the President
of Imperial Sulphur
Industrial Company Ltd.

CERTIFICATE

In order to respond to many years' meritorious services offered as a company's technician from August 1926, Mr. Tanezo Osakada was recommended and appointed a director at the general meeting of stockholders of the Toyo Rayon Company Ltd. in June 1941. However, he was neither in charge of the business of the Toyo Rayon Company directly nor had taken any part in the management and others of the company. Not even once he had attended the meeting of directors. As I am well acquainted with the above mentioned facts, having been at the post of President (highest ranking officer) of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days I hereby certify that the above mentioned facts are true in all respects.

May 20, 1948

Asahiko Karashima
Ex-Director and President
and Ex-Managing Director
(Semmu) of the Toyo
Rayon Company Ltd.

CERTIFICATE

In assuming the post of the director of the Toyo Rayon Company Ltd. Mr. Tanezo Osakada did not receive beforehand approval of the Mitsui Bussan Company Ltd. from which this company has been developed.

I hereby certify the truth of the above facts.

June 4, 1948

Jun Taguchi
Liquidator,
Mitsui Main Co., Ltd.

CERTIFICATE

Apart from the officer of the Toyo Rayon Company Ltd. and that of Sanyo Fat Company Ltd. Mr. Tanezo Osakada has not been appointed an officer of the any other Mitsui Zaibatsu Companies.

I hereby certify that the above fact is true.

June 4, 1948

Jun Taguchi
Liquidator,
Mitsui Main Co., Ltd.

CHRONOLOGICAL RECORD OF PROFESSION
AND EMPLOYMENT

Tanezo Osakada

1. August 1917 The Yokohama Dock Company Ltd.
2. August 1926 Retired from the same Company.
3. August 1926 Entered the Toyo Rayon Company Ltd.
4. September 1936 Retired from the same Company.
5. September 1936 Entered the Toyo Silk Yarn Company Ltd.
6. June 1939 Assumed the post of Director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd.
7. May 1941 Resigned from the post of Director of the same Company.
8. April 1941 Assumed the post of Managing Director of the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd.
9. February 1944 Resigned from the post of Managing Director of the same Company.
10. June 1941 Assumed the post of Director of the Toyo Rayon Company Ltd.
11. May 1944 Resigned from the post of Director of the same Company.
12. February 1944 Assumed the post of Managing Director (Jomu) of Sanyo Fat Company Ltd. The same post is still being held at present.

CERTIFICATE

1. The Mitsui Trading Co., Ltd. and the Toyo Rayon Company, Ltd. jointly established Sanyo Fat Company Ltd. in March 1943 as the Equipment Bureau of the Ministry of War requested the Mitsui Trading Co., Ltd. (Mitsui Main Company Ltd.) to make efforts for the manufacturing of lubricating oil for aircrafts.
2. Establishment of a factory for pyridine method completely failed in January 1944, and thereupon the Army Fuel Headquarters requested Sanyo Fat Company Ltd. to strengthen the field of technics of the same company as well as to strengthen the official staff of the company.

Accordingly Mr. Tanezo Osakada assumed the post of an officer of the same company on February 1, 1944 by the above instructions of the Army and by the request of President Ozawa: he had not entered the company in order to represent the interests of this company or to act as a liaison officer in dealing with the affairs relating to this company.

I hereby certify that the above facts are true in all respects.

June 8, 1948

Shinmei Mori
Representative Director,
Toyo Rayon Company Ltd.

CERTIFICATE

Sanyo Fat Company is at present securing a prominent position in the world of textile machine oil industry as a member of this Industrial Society.

Much can be expected in the future development of textile oil with the development of textile industry.

Mr. Tanezo Osakada, the managing director (Jomu) of the same company not only displays profound faculty in the development of the company's industry but contributes much to the development of the same industry. Naturally much is also expected from him, in future, for the sake of this industry.

I hereby certify the truth of the above mentioned facts.

June 4, 1948

Masao Fukushima
President,
Fat Industrial Society.

CERTIFICATE

Sanyo Fat Company is at present securing a leading position in the world of Japan's penicillin industry. Mr. Tanezo Osakada, who is the managing director (Jomu)⁴ the same company and who is also at the post of director of the world of this industry is not only devoting himself to the development of the company's business but also contributing much to the development of the world of this industry.

Personnly I know him very well, and for the sake of this industry much is expected from him in future.

I hereby certify that the above statement is true and correct in all respects.

June 4, 1948

Bunryo Suzuki
 Managing Director,
 Nippon Penicillin
 Society.

PETITION

Mr. Tanezo Osakada, who is the representative director of this company and concurrently a managing director is always respected by all of the company's employees.

His resignation at this moment is a great blow for the company, for there is no suitable person to succeed him as a technical expert.

Under these circumstances I hereby submit you this petition on behalf of all the Union members so that the examination might be conducted in consideration of the above statement.

June 7, 1948

Yoshiaki Itaya
Chief of the Executive
Committee,
Aichi Factory Trade Union,
Sanyo Fat Company Ltd.

To Mr. Hitoshi Ashida,
Prime Minister of Japan.

CERTIFICATE

Mr. Tanezo Osakada, Managing Director (Jomu) of Sanyo Fat Company, Ltd., was appointed the Director of this Company in June 1941 and retired from the post in May 1944. During his tenure of office, this Company did not pay him any remunerations. We hereby testify to the above fact.

1 June 1948

Shinmei Mori,
Representative Director,
The Toyo Rayon Co., Ltd.



APPROVED July 5 1948
承認 昭和23年7月5日

NAME YOSHIKUNI NAKATANI

Misao Ueda

No. 516

Name of Company NIPPON KOKUSAN KOGYO K.K.

個人調査書

(記載上の一般的注意)

- 一、本調査書は、三通提出しなければならない。
- 二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。
- 三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。
- 四、各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。
- 五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
- 六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に続く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。
- 七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

日本製薬工業株式会社

會社 第 號

中 谷 芳 邦

氏名

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

中ナカ
方カタニ
谷ニヨシ
芳シク
邦ニ

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

當該事項 ナシ

三、生年月日(年齢數え年)

明治二十二年十二月十四日(六十才)

四、出生地(都道府縣)

大阪府

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

京都市上京區小川通寺ノ内下ル射場町五五二番地
電話 西陣七七七

六、本籍地(略記しないこと)

大阪府三島郡島飼村大字島飼下九三番地ノ一

APPROVED
RECEIVED

Page 1

Questionnaire

1. Name (In full).

YOSHIKUNI NAKATANI

2. Other names which you have used or by which you have been known,
(alias or penname).

NONE

3. Date of birth (age).

DECEMBER 22, 1889 (60 years)

4. Place of birth (prefecture).

OSAKA-FU

5. Present address (in full) and telephone number.

552, IBACHO, OGAWA-DORI, TERANOUCHE-SAGARU, KAMIKYO-KU,
KYOTO CITY (TEL. NISHIJIN 777)

6. Permanent address (in full).

13-1 TORIKAISHIMO, TORIKAI-MURA, MISHIMAGUN,
OSAKA-FU.

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

日本製鐵工業株式會社、三菱財閥

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

財閥傍系會社

(三) 地位

取締役社長

(四) 就任の豫定日

現任中

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該當事項ナシ

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む)。

該當事項ナシ

(二) 指定者が指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該當事項ナシ

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.
- a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

**NIPPON KOKUSAN KOGYO KABUSHIKI KAISEA
MITSUBISHI LINE**

- b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

ASSOCIATED COMPANY

- c. Position

PRESIDENT

- d. Scheduled date of assumption of the position.

PRESENT

8. All other positions and professions which you hold now.

NONE

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

- a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

NONE

- b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NONE

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時に於ける當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
大正四年七月就	三菱合資會社 造船部(現株式會社三菱本社)	長崎造船所 材料課員	倉庫事務及購買事務 (大正七年六月ヨリ同九年 二月迄米國及歐洲各國ニ 派遣セラル)	造船、造機 本店一東京市
同十二年八月退	同上	機械部	各種機械器具ノ賣買	機械器具、金屬、 雜貨、燃料、油脂 織維、食品等ノ賣買 及之ニ附隨スル事業 本店一東京市
同十二年八月就	三菱商事株式會社本店	機械部	各種機械器具ノ賣買	機械器具、金屬、 雜貨、燃料、油脂 織維、食品等ノ賣買 及之ニ附隨スル事業 本店一東京市

<p>昭和四年八月就同 大阪支店 同 九年八月就同 大連支店</p>	<p>同十二年二月退同</p>	<p>同十二年二月就 日本製糖工業株式會社</p>	<p>支店副長 支店長</p>	<p>代表取締役 最初專務取 締役昭和十 八年十一月 十五日ヨリ 取締役社長 ト呼稱ス</p>	<p>大阪支店長ヲ輔佐シ支店事務ノ統轄 大連支店ノ統轄</p>	<p>最高代表取締役トシテ職務</p>	<p>大阪支店ー大阪市 大連支店ー大連市</p>	<p>玉蜀黍ヲ原料トシ米 國コロン・プロダ ツ・コン・メーノ特 許ニヨリ、コーン スターチ、油、葡萄 糖、飼料等ノ製造</p>	<p>朝鮮平壤市</p>
--	-----------------	---------------------------	---------------------	---	-------------------------------------	---------------------	------------------------------	---	--------------

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company, With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
JULY, 1915	MITSUBI-SHI GOSHI-KAISHA SHIP BUILDING DEPT (PRESENT-MITSUBISHI BONSHA)	STUFF OF MATERIAL SEC-TION	WAREHOUSING AND PURCHASING OF MATERIALS (FROM JUNE 1918 TO FEB 1920 WAS DESPATCHED TO U.S.A. AND EUROPE)	SHIP-BUILDING AND MACHINE MANUFACTURING HEAD OFFICE - TOKYO BRANCH - NAGASAKI
AUG. 1923 RETIRED	-DO-			
-DO-	MITSUBI-SHI SHO-KAIKAISHA HEAD OFFICE	STUFF OF MACHINERY DEPT.	BUSINESS OF MACHINERY	BUSINESS OF MACHINERY, METAL, GENERAL MARCHAN-DISE, FUEL, OIL, TEXTILE, FOOD ETC.

AUG. 1929	DO OSAKA BRANCH	SUB MANAGER ASSISTANCE OF MGR	DO OSAKA
AUG. 1934	DO DAIREN BRANCH	MANAGER	DO DARNY
FEB. 1937 RETIRED	DO		
FEB. 1937 Kogyo	NIPPON KOKUSAN KABUSHIKI KAISHA	REPRESENT- ATIVE DI- RECTOR (NAMED AS MANAGING DIRECTOR, AFTERWARD PRESIDENT)	MANAGING OF WHOLE COMPANY MANUFACTURING OF CORN STARCH, GLUCOSE, MAZOLA OIL, DEXTROSE, FEED ETCBY APPLING PATENTS OF CORN PRODUCTS RE- FINING CO OF NEW YORK KEIJYO KOREA

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

(一) 明文の取極の有無

ナ シ

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

(1) 私が日本製糖工業（以下日糖ト稱ス）ノ専務取締役ニ就任シタ當時（昭和十二年二月）

日糖ノ株式ハ九五%ヲ米國コイン・プロダクツ・レファイニング會社（以下OPRト稱ス）五%ヲ三菱本會社ガ所有シ完全ニOPRノ支配下ニ在リOPRノ社員J・W・SCOTTガ専務取締役トシテ經營ノ任ニ當ツテ居タガ成績ガ優ガラナカッタノデOPRハ三菱會社ニ經營ノ代行ヲ依頼シ且ツ適當ナ日本人ヲスコットノ後任トシテ専務取締役ニ推薦方要求アリ三菱側ガ私ヲ推薦シタノデOPRハ私ガ其希望スル條件ニ合致シタカラ日糖ノ株主總會ニ於テ私ヲ選任シタ次第デアアル即チ私ガ専務取締役ニ就任シタノハ全クOPRノ意思ニ依ルモノデアアル

(2) 私ガ經營ノ結果日糖ノ業績ガ非常ニ好轉シタノデOPRハ公文ヲ以テ又日糖役員會席トOPR側代表ノ日糖取締役ガスピル氏^氏其後任者カーチス氏ヨリ私ガ何時迄モ其職ニ留マル様要求アリ三菱側ハ之ニ同意シタ即チ私ガ引續キ留任シタノハ全クOPRノ意思ニ依ルモノデ三菱側獨自ノ意思デハナカッタ

(3) 日米國交惡化シ前記カーチス氏ガ歸米シタ際假令日米間關係ノ狀態ユナルトモOPRノ權益擁護ト私ノ條件ヲ具々モ依頼シ三菱側ハ之ニ同意シタ其後敵産管理會ニヨリ朝鮮總督府ノ命ニテOPR所有ノ九五%ノ日糖株ヲ三菱側ガ買収シテカラモ依然私ガ最高代表取締役ニ選任セラレタノハOPRノ意思ヲ三菱側ガ尊重シタ結果デアッタ三菱獨自ノ意思デハナカッタ

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

(1) WHEN I FIRSTLY TOOK THE POSITION OF REPRESENTATIVE DIRECTOR OF NIPPON KOKUSAN KYGYO K.K. (NKK) IN FEBRUARY 1937, 95% OF NKK'S SHARE WAS OWNED BY CORN PRODUCTS REFINING CO. OF U.S.A. (CPR) AND 5% BY MITSUBISHI HONSHA THEREFORE NKK WAS UNDER THE COMPLETE CONTROL OF CPR AND MR. J.W. SCOTT, ONE OF THE STUFF OF CPR, WAS MANAGING THE COMPANY. HOWEVER THE BUSINESS RESULT OF NKK BEING UNFAVOURABLE CPR DECIDED TO ENTRUST MITSUBISHI TO MANAGE NKK AND ASKED TO RECOMMEND A PROPER JAPANESE TO TAKE THE POSITION OF MR. SCOTT WHO WAS ORDERED TO RETIRE, AND I WAS ELECTED OFFICIALLY TO THE REPRESENTATIVE DIRECTOR OF NKK AS I WAS RECOGNIZED BY CPR TO HAVE THE QUALITY TO MEET THEIR REQUIREMENT.

IT CAN BE SAID CLEARLY THAT I WAS ELECTED BY THE CPR'S DESIRE AND NOT BY MITSUBISHI'S OWN IDEA.

(2) AFTER I TOOK THE POSITION THERE RESULTED A REMARKABLE IMPROVEMENT SHOWING A GOOD PROFIT, CPR EXPRESSED SEVERAL TIMES THEIR SATISFACTION AND ALSO DESIRE TO KEEP ME TO THE PRESENT POSITION CONTINUOUSLY BY THEIR OFFICIAL LETTER ADDRESSED ME AND THROUGH MR. GASBY AND HIS SUCCESSOR MR. CURTIS ON THE NKK DIRECTORS MEETING, WHO USED TO BE DIRECTORS OF NKK ELECTED FROM CPR SIDE.

THERE IS NO DOUBT, THEREFORE, THAT I WAS REELECTED BY THE STRONG DESIRE OF CPR TO WHICH MITSUBISHI WAS FAITHFUL TO FOLLOW.

(3) WHEN MR. CURTIS LEFT JAPAN 1941 HE EARNESTLY ASKED MITSUBISHI TO DO THEIR BEST TO PROTECT CPR'S INTEREST AND TO LET ME MANAGE NKK EVEN THE WORST TIME WOULD COME BETWEEN U.S.A. AND JAPAN, EVEN AFTER MITSUBISHI BOUGHT BY THE ORDER OF CHOSEN SOTOKUFU WHOLE SHARES OWNED BY CPR I WAS ELECTED CONTINUOUSLY TO THE SAME POSITION. THIS PROVES THAT HOW MITSUBISHI WAS FAITHFULLY TO STICK TO THE PROMISS TO CPR.

AND IT SHOULD BE SAID THAT I WAS REELECTED TO THE POSITION OF HIGHEST MANAGING DIRECTOR BY CPR'S DESIRE AND NOT BY MITSUBISHI'S OWN DISIRE.

昭和二十三年六月十日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

中谷正太郎



Page 6

12. Date

JUNE 10, 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

J. Nabatani

(1) 役員就任の時及び現在（終戦の時と變化なし）に於ける當社の株式の二割以上の所有者の氏名
及持株率は左の通り

就任の時

米國コロン・プロダクツ・レファアイニング・コンパニー 九五・〇%

現在

株式會社三菱本社 五二・五%
三菱商事株式會社 四七・五%

(2) 役員勤務期間に於ける他の役員の名、地位及就任退任年月日

氏名	地位	就任	退任
故各務 鎌吉	取締役	昭和五年六月	昭和十四年五月二十七日
服部 一郎	同	同十二年二月一日	現任中
ジョン・ガスビー	同	同	昭和十五年二月廿九日
谷田 友治	監査役	同	同十四年二月十五日
釘澤 一夫	同	同十四年二月十五日	同十七年六月十七日
小松 繁	取締役	同十四年八月十一日	同十五年二月廿九日
ジョン・エル・カーチス	同	同十五年二月廿九日	同十七年二月廿八日
鈴木 祥枝	同	同	同廿一年五月三十日
高橋 五郎	監査役	同十五年二月廿九日	同十九年二月廿九日
	常務取締役	同十九年二月廿九日	同廿一年五月三十日
又池田 龜三郎	取締役	同十七年二月廿八日	現任中
故武藤 松次	監査役	同十七年六月十七日	同十九年六月一日
本田 松治	同	同十九年二月廿九日	現任中
石黒 俊夫	同	同十九年八月卅一日	同廿一年五月三十日

Name and stock-holding percentage of stock-holders
owning 10% or more of the total stock of the company
at the time of my assumption of office and retirement

(a) Time of my assumption of office

Corn Products Refining company 95%

Time of my retirement (no change since and of 1943
up to present)

Mitsubishi Honsha 52.5%

Mitsubishi Shoji Kaisha 47.5%

(b) Name, position and dates of appointment and retirement
of other officials of the company during the period
when I served.

Name	Position	When appointed	When retired
KENKICHI KAGAMI (LATE)	DIRECTOR	JULY, 1930	MAY 27, 1939
ICHIRO HATTORI	"	FEB. 1937	PRESENT
JOHN GASBY	"	"	FEB. 29, 1940
TOMOJI TANIDA	INSPECTOR	"	FEB. 15, 1939
KAZUO KUGISAWA	"	FEB. 15, 1939	JUNE 17, 1942
SHIGERU KOMATSU	DIRECTOR	AUG. 11, 1939	FEB. 29, 1940
SHIZUE SUZUKI	"	FEB. 29, 1940	MAY 30, 1946
JOHN L CURTIS	"	"	FEB. 28, 1942
GORO TAKAHASHI	INSPECTOR DIRECTOR	" FEB. 29, 1944	FEB. 29, 1944 MAY 30, 1946
MATSUJI MUTO (LATE)	INSPECTOR	JULY 17, 1942	JUNE 1, 1944
KAMESABURO IKEDA	DIRECTOR	FEB. 28, 1942	PRESENT
MATSUJI HONDA	INSPECTOR	FEB. 29, 1944	"
TOSHIO ISHIGURO	"	AUG. 31, 1944	MAY 30, 1946



516



APPROVED July 5 1948
承認 昭和23年7月5日

Corn Products Refining Company,
New York, U. S. A.

Misao Ueda

Gentlemen:

We hereby accept the following amendments to our agreement with you covering the management of the Nippon Kokusan Kogyo K. K. as expressed in the letter of December 10th, 1936 signed by Mr. George S. Mahana and Mr. T. Yanase.

1. It is hereby agreed that the negotiations for the purchase by us of the additional interest in the Nippon Kokusan Kogyo K.K. mentioned in the original agreement, shall be postponed for an indefinite period. We understand that you will discuss with us the sale to us of the said additional interest in the Nippon Kokusan Kogyo K.K. within a reasonable time after we shall request you to do so.
2. You hereby authorize the Nippon Kokusan Kogyo K.K. to pay us a "management commission" amounting to Ten percent (10%) of the gross profit of the Nippon Kokusan Kogyo K.K. less all expenses except the said management commission, for each semiannual accounting period of Nippon Kokusan Kogyo K.K. or a minimum semiannual sum of Twenty Five Thousand Yen (¥25,000), whichever is larger. Such management commission as aforesaid to be payable semiannually during February and August and to be paid irrespective of the result of the business of the Nippon Kokusan Kogyo K.K. for the accounting period. This stipulation shall take effect from November 1st, 1937 and will cease either when we shall acquire the additional shares as stipulated or we shall relinquish to you the management of the Nippon Kokusan Kogyo K.K. The management commission as aforesaid for the November and December 1937 shall be payable during February 1938 and shall be Ten Percent (10%) of the gross profit less all expenses except the management commission for the two months or the prorata part of the aforesaid minimum sum whichever is larger.
3. All stipulations of the original agreement hereby modified shall be in effect until expiration of one year after either party having received from other party of a written notice of their desire so to do. In the event however of our having been pressed by the government, we shall have the privilege of returning the management to you upon expiration of six months after your having received of our written notice of our desire so to do.

Yours veru truly,

MITSUBISHI SHOJI KAISHA, LTD.

ACCEPTED:
CORN PRODUCTS REFINING COMPANY

By _____

By _____

三菱
の
日
殺
手
行
の
付
手
料
手
書
面

KNOW ALL MEN BY THESE PRESENTS that Corn Products Refining Company, a corporation organized and existing by virtue of the laws of the State of New Jersey, United States of America, and having an office and place of business at 17 Battery Place, New York City, in the state of New York, hereinafter called Company, has nominated, constituted, and appoint John L. Curtis at Present of Tokyo, Japan, its true and lawful attorney, for it and in its name, place, and stead, and for its use and benefit, within the Empire of Japan or any of its possessions, to make declaration of oath to any invoice, manifest, landing certificate, or other document required by the Custom authorities of Japan or any of its possessions or colonies; to prosecute or defend or compromise any suits or actions at law, and for said company and in its name, place, and stead to bring action or actions in any and all competent tribunals in Japan or its possessions or colonies against any and all persons, real or artificial, upon such causes of action as have risen or may arise out of the infringement of the rights of the said Company in its lawful brands, trademark, and trade-names; to sue for, prosecute, collect, compromise, and settle all such claims due or to become due, now existing or hereafter arising in favor of said Company; to vote on any and all shares of stock of Nippon Kokusan Kogyo Kabushiki Kaisha, now or hereafter registered in the name of the Company at any and all meetings of stockholders of said Nippon Kokusan Kogyo Kabushiki Kaisha, and to appoint one or more substitutes to attend to all or any part of the foregoing powers and authorities in all or any part of the territory embraced herein, the authority so given to any such substitute or substitutes shall not be terminated by the death of the said Curtis, but shall continue thereafter until terminated by said Company.

In WITNESS WHEREOF the said Corn Products Refining Company has caused these presents to be duly executed this 9th day of August, one thousand nine hundred and forty.

CORN PRODUCTS REFINING COMPANY

(Signed) By Frank H. Hall
Vice President

Attest:

(Signed) F.T. Fisher
Secretary

copy

This agreement made this First day of February 1937 by and between Nippon Kokusan Kogyo, Limited, a limited liability company organized under the laws of the Empire of Japan, party of the first part (hereinafter termed the "Principal") and Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, a limited liability company organized under the laws of the Empire of Japan, party of the second part (hereinafter termed the "Agent").

Whereas, the Principal is engaged in the manufacture, distribution and sale of corn sugar, corn syrup, corn starch, corn oil, corn gluten meal, corn gluten feed and various other products from cereals and vegetables and

Whereas, the Principal is desirous of appointing a sole and exclusive agent to sell within the Empire of Japan, within the Empire of Manchukuo and within the Kwantung leased Territory and the Agent is desirous of securing such appointment on the terms and conditions hereinafter set forth.

Now, therefore, this agreement witnesseth, that the Principal and Agent have mutually agreed as follows:

1. The Principal hereby appoints the agent as from the date hereof its sole and exclusive selling agent for all Products manufactured and dealt in, or imported and dealt in by the Principal within the Empire of Japan, the Empire of Manchukuo and the Kwantung leased Territory. Subject however, to the condition that the Agent shall not export or sell for export from the Empire of Japan except to the Empire of Manchukuo and the Kwantung Leased Territory any of the merchandise manufactured, imported, or other-

三
日
二
月
一
日
日
本
主
人
と
三
菱
物
産
有
限
公
司
と
の
間
に
締
結
さ
れ
た
事
を
証
す

wise dealt in by the Principal.

2. The Principal agrees to supply all products manufactured or dealt in by the Principal to the Agent from time to time according to the Principal's estimate of the requirements of the trade and the Agent agrees to receive and hold said merchandise upon the following terms and conditions, to wit:-

(a) To hold and care for said merchandise as the property of the Principal, the title to which or to the proceeds from the sales there-of or any part thereof always to remain vested in the Principal.

Nothing in this clause shall prevent the Agent from retaining lien on said merchandise or proceeds from the sale thereof or a part thereof against accounts owned by the Principal to the Agent.

(b) The Principal agrees to authorize the Agent for drawing a documentary draft in the Agents own name on buyers against the goods sold.

(c) The Agent agrees not to enter into an agreements with anyone not a party to this contract of Agency for fixing the price at which the said merchandise may be sold or for limiting the quantity of said merchandise which may be sold without previously obtaining in writing the consent of the Principal.

Nothing in the clause shall effect the fixing of prices or quantity of merchandise sold to purchasers of said merchandise.

(d) The Agent agrees to hold and account for such Merchandise

under a method of accounting established by the Principal.

- (e) The Agent agrees to keep said merchandise fully insured at the expense of the Principal against loss or damage by fire for the benefit of the Principal.
- (f) The Principal shall insure all shipments from its factory to the consignment points. The Agent agrees to keep said merchandise fully insured on the same condition as the Principal's original insurance, after the expiration of the said original insurance placed by the Principal, at the expense of the Principal and for the benefit of the Principal. The Principal agrees to acquaint the Agent with the nature and amount of all insurance placed by the Principal on merchandise consigned to the Agent.
- (g) The Agent agrees to follow the general policy of the Principal regarding the sales price and the quantity to be sold.

3. In full compensation for the Agent's services under this agreement, the Principal agrees to pay and the Agent agrees to accept a commission of Three (3) percent of the gross selling price of all goods sold by the Agent hereunder.

4. The del credere risk on all sales shall be borne by the Agent.

5. The Agent agrees to discontinue dealing in any merchandise which in the judgement of the Principal can be replaced by merchandise manufactured or dealt in by the Principal should the Principal at any time request the Agent to discontinue said dealing.

6. All expenses for propaganda and advertising shall be borne by the Principal. No expenses for propaganda or advertising

shall be incurred by the Agent for the account of the Principal without first securing the permission of the Principal therefore.

7. The Agent agrees to make for the account of the Principal such payments as the Principal may authorize and request provided that the total value of such payments outstanding at any time does not exceed the proceeds of sales due from the Agent to the Principal.

8. The Agent agrees to act for the Principal in all matters connected with the import or export of the Principal's merchandise upon the authorization and request of the Principal.

9. This agreement shall become effective from the date hereof and continue in force until terminated as hereafter provided.

This agreement may be terminated at any time, by either party giving the other party one year's notice in advance of its desire to do so.

10. Any previous agreement between the Principal and the Agent covering the sale of the Principal's merchandise is hereby abrogated and superseded.

In Witness whereof, the parties hereto have caused these presents to be signed by their duly authorized officers the day and year first above written.

NIPPON KOKUSAN KOGYO KABUSHIKI KAISHA

By _____

MITSUBISHI SHOJI KAISHA, LTD.

By _____

COPY

THIS AGREEMENT made this Seventeenth day of June 1931, by and between CORN PRODUCTS REFINING COMPANY, of 17 Battery place, New York City, a corporation organized and existing under the laws of the State of New Jersey, U.S.A., party of the first part, (hereinafter termed the "Seller"), and MITSUBISHI GOSHI KAISHA, a limited partnership organized under the laws of the Empire of Japan, party of the second part, (hereinafter termed the "Purchaser").

WHEREAS, the seller owns and controls the Nippon Corn Products Company, Limited, a limited liability company organized and existing under the laws of the Empire of Japan, (hereinafter termed the "Japanese Company", having an authorized capital of Yen Ten Million (¥10,000.00) divided into Fifty Thousand (50,000) shares of the par value of Yen Two Hundred (¥200.00) per share, all of which are issued and outstanding, and on which Yen Fifty (¥50.00), per share, has been paid up

WHEREAS, the Seller is desirous of selling to the Purchaser, and the Purchaser is desirous of buying from the Seller, Two Thousand Five Hundred (2,500) shares of the Japanese Company's stock on the terms and conditions hereinafter set forth.

NOW, THEREFORE, THIS AGREEMENT WITNESSETH, that the Seller and the Purchaser have mutually agreed as follows:

- (1) The Seller shall sell to the Purchaser, and the Purchaser shall buy from the Seller Two Thousand Five Hundred (2,500) shares of the stock of the Japanese Company, being a part of the Fifty Thousand (50,000) shares of the Japanese Company issued and outstanding, having a par value of Yen

Handwritten vertical notes in Japanese characters on the left margin.

Two Hundred (¥200.00), per share, of which Yen Fifty (¥50.00) per share has been paid up.

- (2) The purchase price of said shares shall be Yen Fifty (¥50.00), per share, a total of Yen One Hundred Twenty Five Thousand (¥125,000.00). Upon the payment by the purchaser to the Seller of the total purchase price for the said Two Thousand Five Hundred (2,500) shares the Seller will transfer the title to same, and deliver to the Purchaser certificates of the Japanese Company aggregating Two Thousand Five Hundred (2,500) shares together with the documents required to enable the Purchaser to transfer such shares into its name.

The dividend, if any, on the transferred shares for the second fiscal period of the Japanese Company which contains the date of the transfer shall be due to the Purchaser.

- (3) Should the Purchaser desire to sell all or any part of its shares in the Japanese Company, the Purchaser shall in each and every instance in which it desires to sell such shares first offer to sell them to the Seller at a price equivalent to the total amount actually paid it for the shares by the date of such offer.

If the Seller is unwilling to purchase such shares from the Purchaser, then the Purchaser shall be free to sell such shares to any other person or persons, subject, however, to the provisions of the Articles of Association of the Japanese Company regarding the transfer of shares.

The Seller hereby undertakes not to make any alteration in the Articles of Association of the Japanese Company to such effect as will render the Purchaser unable to transfer the shares to other person or persons, or the effect as will reduce the total amount of the authorized capital of the Japanese Company.

- (4) In case the Seller should fail to fulfill the stipulations of this Agreement, the Seller becomes liable at the request of the Purchaser to repurchase all of the shares transferred to the Purchaser under this Agreement, at a price equivalent to the total amount actually paid in for the shares by the date of such failure. In this event, such repurchase shall be full damages to the Purchaser for any such failure to fulfill said stipulations.
- (5) The Seller agrees to so vote its shares in the Japanese Company as to cause the election of a nominee of the Purchaser to the office of Director in the Japanese Company.
- (6) The Seller further agrees to cause the unpaid capital of the Japanese Company to be so called for payment that the Purchaser will be required to pay the remainder of the unpaid capital on the shares purchased by it, at the following times, viz., the second payment of Yen Fifty (¥50.00) per share, Yen One Hundred Twenty Five Thousand (¥125,000.00) during the calendar year 1931 as the financial requirements of the Japanese Company may dictate,

the third payment of Yen Fifty (50.00) per share, Yen One Hundred Twenty Five Thousand (¥125,000.00) during the calender year 1931 as the financial requirements of the Japanese Company may dictate, and the final payment of Yen Fifty (¥50.00) per share, Yen One Hundred Twenty Five Thousand (¥125,000.00) at a later date as required.

- (7) The Seller also agrees that so long as the shares aforesaid are owned by the Purchaser, it will cause the Japanese Company to purchase coal preferentially from those mines or companies which the purchaser directly owns or controls, so long as the prices and qualities offered by said mines or companies are equally satisfactory and/or favorable to the Japanese Company as those prices and qualities offered by other mines or companies for delivery at the same time to the Japanese Co. as those prices and qualities offered by other mines or companies for delivery at same time to the Japanese Company of coal in like quantities.
- (8) The Seller agrees to cause the Japanese Company to offer Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, the sole and exclusive selling agency for corn sugar and corn syrup manufactured and/or handled by the Japanese Company, such offer to be in accordance with the terms and provisions of the agency agreement annexed hereto.

It is understood that the continuance of such share ownership by the Purchaser and the continuance of the

selling Agency to Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, if the selling agency is accepted by Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, are in no way dependent, and that if in the judgement of the Seller and/or the management of the Japanese Company an alteration or alterations, or a cancellation of said selling agency agreement should seem desirable, such alteration, or alterations, or cancellation may be made after conferring with the purchaser and/or Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, provided that said selling agency shall not be subject to cancellation for eighteen months from the date that the Japanese Company's factory commences production, and after said term shall be subject to cancellation only on six months notice. If cancelled, the Purchaser shall continue its share interest in the Japanese Company, unless it shall otherwise elect.

- (9) If in the opinion of the Seller, because of financial or merchandising reasons, or for other reasons, it should become advisable or desirable to organize a separate company to handle sales for the Japanese Company, the Seller agrees to offer to the Purchaser and/or Mitsubishi Shoji Kaisha, Limited, rights to subscribe to a percent of the shares of such separate company equal to the percent of share holdings of the Purchaser in the Japanese Company at the time of organization of such company, it being understood that Purchaser and/or Mitsubishi Shoji Kaisha,

Limited, may subscribe to such shares or not as it or they may see fit.

(10) It is mutually agreed that the Agreements herein contained are offered, accepted and formed, in the City of Tokyo, and to exist under the laws of the Empire of Japan.

IN WITNESS WHEREOF, the parties hereto have caused these presents to be signed by their duly authorized representatives, this day and year first above written.

CORN PRODUCTS REFINING COMPANY

By _____

mitsubishi goshi kaisha

By _____

受
23.6.11
付

三井

APPROVED July 5 1948
承認 昭和23年7月5日

NAME IKUMA NONAKA

No. 463

Name of Company

TOA GOSEI CHEMICAL
INDUSTRY CO., LTD.

Misao Ueda

個人調査書

(記載上の一般的注意)

本調査書は、三通提出しなければならない。

調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英
両文間に相違がある場合は、英文によるものとする。

記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。

四、各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。

五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
ない。

六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記
載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。

七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第
三十一條の規定により處罰せられる。

東亞合成化學工業株式會社

野 仲 伊 第 號

氏名

[Redacted box for name]

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

野の なか
仲 伊い
熊 くま

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該當事項なし

三、生年月日(年齢数え年)

明治三十年十月八日(數え年五十二歳)

四、出生地(都道府縣)

熊本縣

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

富山縣高岡市宮脇町八六五番地 電話高岡五四〇番

六、本籍地(略記しないこと)

福岡縣大牟田市白金町七五番地

APPROVED
NOV 19 1917

三
廿

Page 1

Questionnaire

1. Name (In full).

IKUMA NONAKA

2. Other names which you have used or by which you have been known,
(alias or penname).

NONE.

3. Date of birth (age).

OCTOBER 8, 1897 (AGE 52)

4. Place of birth (prefecture).

KUMAMOTO PREFECTURE.

5. Present address (in full) and telephone number.

NO. 865, MIYAWAKI-CHO, TAKAOKA CITY,
TOYAMA PREFECTURE.
TEL. TAKAOKA 540

6. Permanent address (in full).

75, SHIRAGANE-MACHI, Omuta City,
Fukuoka Prefecture.

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

東亜合成化學工業株式會社 三井財閥系統

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

財閥會社(準直系會社)

(三) 地位

取締役

(四) 就任の豫定日

現在就任中

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該當事項なし

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む。)

該當事項なし

(二) 指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該當事項なし

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

TOA GOSEI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
LINEAGE OF MITSUI ZAIBATSU.

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

ZAIBATSU COMPANY (INDIRECT AFFILIATE COMPANY).

c. Position:

DIRECTOR.

d. Scheduled date of assumption of the position:

ASSUMING AT PRESENT.

8. All other positions and professions which you hold now.

NONE.

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

NONE.

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NONE.

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時に於ける當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
昭和十九年五月三十一日	全上	伏木工場製造第二課長及び製造第三課長の兼務を解か		
昭和十九年七月十六日	全上	東亞合成化學工業株式會社採用に付き解雇さる		
(註) 北海曹達株式會社が矢作工業株式會社に合併せられ矢作工業が東亞合成化學工業と改稱したるもの				
昭和十九年七月十七日	東亞合成化學工業株式會社	取締役選任せらる	取締役として本店の指示に依り主として伏木工場の管理に勤務し工場常時伏木工場に勤務して工場を管理する外	本店 東京都港區芝田村町 事業 硫酸安苛性ソーダ及び各種鹽化物の製造 伏木工場 富山縣高岡市伏木新島 事業 苛性ソーダ金屬ソーダ苛性ソーダ鹽化アンモニア
全上	全上	伏木工場長並びに全工場技師長兼務を命ぜらる		

昭和十九年五月三十一日	全上	伏木工場製造第二課長及び製造第三課長の兼務を解か	
昭和十九年七月十六日	全上	東亜合成化学工業株式會社採用に付	

(註) 北海曹達株式會社が矢作工業株式會社に合併せられ矢作工業が東亜合成化学工業と改稱したるもの

昭和十九年七月十七日	東亜合成化学工業株式會社	取締役を選任せらる	取締役として本店の指示に依り主として伏木工場の管理	本店 東京都港区芝田村町
全上	全上	伏木工場長並びに全工場技師長兼務を命ぜらる	伏木工場常務技師として工場管理する外	伏木工場 高岡市伏木新島
昭和二十一年二月十二日	大北工業株式會社	監査役を選任せらる	商法の任務をなす	高岡市 伏木新島

昭和二十一年四月三十日	東亜合成化学工業株式會社	高岡工業所長を命ぜらる	職制變更による名稱の變更	
(註) 伏木工場を高岡工業所と改稱せしもの				
昭和二十二年一月十四日	大北工業株式會社	監査役を辭任す		